

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://niigata-ksk.sakura.ne.jp>

会長 稲田 春男
事務局 伊藤 明德
会報編集 大場 勲

令和5年度評議員会を開催

令和5年4月8日(土) 11 時から、長岡市ホテルニューオータニ長岡2階柏の間において、令和5年度評議員会が開催されました。

今井理事長から評議員数43名のところ、出席18名、委任状提出18名、計36名で過半数を超えたと報告があり、評議員会は成立した。

次に稲田会長から次のような挨拶があった。
「日頃から、協会に對しましてご理解ご協力を頂きまして誠に有難う御座います。昨年を振り返ってみますと、コロナに苦勞された1年ではなかったかと思ひます。この場を借りまして、委員長さんに感謝を申し上げます。
そのような中で、色々な行事が復活しております。
弥彦山たいまつ登山祭も開催され、今まで鹿児島国体がコロナで中止又は延期になっていましたが、今年には鹿児島

で行います。
北信越国体の北信越ブロック大会が、新潟県が当番で、7月29日(土)、30日(日)に新潟市のCAMPAで行うことが決まっております。それにつきまして、昨年度、実行委員会を立ち上げました。また、来年度は、全日本登山大会が新潟県で行われます。これも、延期になっていましたが千葉の次は新潟ということで、来年の9月に予定通り湯沢町の周辺の山を会場としてやって行きたいと思ひます。
渡辺 茂登山普及委員長を中心にして早く所存で立ち上げて対応して行く所存です。コロナが落ち着いて元のような静かな生活に戻ることを願ひまして挨拶とさせていただきます。」

第3号議案「新潟県山岳協会の規約改正について」が、会報編集委員会を復活させるため規約を改正することで行われた。
第4号議案「令和5年度役員について」が以下の内容で可決された。
(参与)
遠藤 俊一、廣井 博行、諏訪 恵一の3氏が新たに参与に就任
(副会長)
指導技術委員長 堀口 寿彦氏が副会長を兼務
自然保護委員長 伊藤 直氏、登山普及委員長 渡辺 茂氏が副会長を兼務
(会報編集委員長)
副理事長 大場 勲氏が会報編集委員長を兼務
(副理事長)
玉木 大二朗氏が副理事長に就任
(理事)
山田 真史氏が理事に就任
(監事)
佐藤 博氏が監事に就任
(日本山岳・スポーツクライ

ミング協会役員)
自然保護委員会常任委員に伊藤 直氏が就任
「新役員挨拶」
新役員を代表し、玉木新副理事長が挨拶
「前副会長挨拶」
前副会長3名(遠藤 俊一氏、佐藤 博氏、廣井 博行氏)を代表し、遠藤 俊一氏が挨拶
第1号議案「令和4年度事業報告及び会計報告について」が以下の内容で可決された。
(1) 各専門委員会の事業報告・決算報告
「指導技術委員会」(堀口委員長)
・日本山岳・スポーツクライミング協会指導委員総会兼研修会(ズームで実施)
・岩登講習会を日帰りで実施
・冬山講習会は、コロナを考慮し中止。
・公認指導者登録更新のための義務研修会を実施。
「遭難対策委員会」(中村委員長)
・第1回安全登山講習会研修

会を17名の参加で実施。

・第2回安全登山講習会研修会は、悪天候で中止。

・第3回安全登山講習会研修会は、天候にも恵まれ18名で実施。

「自然保護委員会」

(伊藤委員長)

・大規模なトレラン大会が、新潟トレイルランナーズにより浅草岳、守門岳、粟ヶ岳で開催されたが、山岳会の絶大なる協力を得て監視を行うことができた。

新潟トレイルランナーズは、今後もトレラン大会をやるつもり。

県環境対策課、新潟トレイルランナーズ、県山協とで意見交換会を行った。

・JMSCA自然保護委員会総会(オンライン参加)

・令和4年度北信越5県連絡協議会に参加

「競技委員会」(田中委員長)

・今年度はコロナが治まったため、例年並みの行事を全て実施出来た。

・とちぎ国体が3年振りに開

催された。

・小中学生のリード大会、ポルダリング大会が3年振りに開催された。

・4月24日に新潟カップがポルダリングのみで開催された。

・リードの方も今後何とかしたい。

「登山普及委員会」

(渡辺委員長)

・4月21日 日向倉山 参加者21名

・6月19日 平標山 参加者24名

・10月1日～2日 平ヶ岳 参加者26名

子ども登山教室は、コロナの関係で中止。

「弥彦山たいまつ登山祭委員会」

(榎井委員長)

7月25日当日は、山頂での記念講演として稲田会長から講演して頂き、151名の参加が有った。

「会報編集」(遠藤 俊一)

令和4年度は、昨年の5月から6回発行。

(2) 令和4年度収支決算報

告 (井口会計担当)

(3) 監査報告(諏訪監事)

第2号議案「令和5年度事業計画及び収支予算について」が以下の内容で可決された。

(1) 各専門委員会の事業計画・予算(案)

「指導技術委員会」

(堀口委員長)

・6月にJMSCA指導委員総会兼研修会が東京で開催される予定。

・6月18日、岩登講習会を予定。

・2月17日～18日、冬山講習会を予定。

・6月のJMSCA指導委員総会兼研修会にはスポーツクライミング関係者の参加も見込まれる。

「遭難対策委員会」

(中村委員長)

・例年通り3回の安全登山講習会研修会を予定。

第1回 6月下旬

第2回 10月下旬

第3回 3月中旬

「自然保護委員会」

(伊藤委員長)

・5月21日 飯豊連峰 大境山

・6月18日 春季自然保護研修会

・6月下旬に新潟トレイルランナーズがトレラン大会を行う予定。

監視を行うので協力をお願いしたい。

・保久礼小屋の登山道が荒れており、新潟トレイルランナーズから補修の提案が来ている。協力してやって行きたい。

「競技委員会」(田中委員長)

・7月に北信越国体を新潟で行う。

北信越国体に関連して4月1日のビレー講習会に6名参加した。

・5月20日の北信越5県代表者会議も、北信越国体会場を案内しながら各県代表者に説明する会議になる。

目新しいものとしては、ポルダリング体験会を3回組んだ。小学生低学年に体験してもらいたい。

「登山普及委員会」

(渡辺委員長)

・5月21日 飯豊連峰 大境山

・9月2日～3日 海谷山塊 駒ヶ岳

・11月3日 六日町 金城山

・上越、中越、下越と区域分けした。

・5月21日

飯豊連峰 大境山

・9月2日～3日

海谷山塊 駒ヶ岳

・11月3日

六日町 金城山

「弥彦山たいまつ登山祭委員会」

(榎井委員長)

・今年度は151名の参加だったが、今年はきめ細かく周知して参加者を募りたい。200名を目標として頑張りたい。

「会報編集委員会」

(大場委員長)

令和5年度も、前年同様5月から隔月の6回発行を予定。

(2) 令和5年度収支予算(案)

(伊藤事務局長)

(3) 令和5年度新潟県山岳協会事業計画概要

その他

賛助会員20年が、橋本正巳氏、藤巻道夫氏の2名。

賛助会員10年が、今井理事長1名。

以上3名を代表し、橋本

正巳氏へ稲田会長より感謝状を贈呈。(文責 大場 勲)



(橋本 正巳氏へ稲田会長より感謝状を贈呈)

第4回新潟県 クライミング選手権 小中学生 ボルダリング選手権

第4回競技委員長
田中 勉

去る、3月19日(日)長岡市のボルダリングジムCIB OXにおいて、第4回新潟県クライミング選手権小中学生ボルダリング大会が開催された。しばらく、コロナ禍で開催出来なかったため、3年振りの開催となった。

種別を、小学生低学年、小学生高学年、中学生男子、中学生女子の4種別とし、新潟県内に限らず、北信越5県及び隣接県の群馬県、福島県、山形県の協会、連盟にも要項を送付し募集した。

全国的には、ボルダリング人気の高まりから、大会定員が直ぐに埋まり、参加すること自体難しい状況もある中で、今大会は、参加者17名、内、県外選手3名、小学生低学年種別1名、中学生男子種別0名、中学生女子種別2名で、新潟県内の小学生低学年、中学生選手が少ないことを痛感した。

予定より参加者が少なかったことと、セッターが頑張つて予定以上の課題を作成してくれたことから、要項では、4分×4課題だったが、急遽、選手の了解を取り、5分×5課題に変更して行った。選手からは、多くの課題を長くトライ出来て良かったとの反応だった。

競技は、小学生低学年から始め、ベルトコンベアー方式で、5分毎に次々に選手がトライして行くので、5人の選手が同時に競技をし、それを今回は、有観客、応援可能としたため、観戦の父兄等が応援し、大いに盛り上がった。課題も、クラシックな保持系からコーディネーション系まで多彩で、選手には、楽しんでもらえたと思う。大会終了後には、ジムの好意により、自由に登る時間を設けて頂き、選手達は、セッターのアドバイスや選手同士とのセッションで、時間を忘れて楽しんでいた。

その様子を見れば、これがクライミングの原点だなと、あらためて思った次第である。今回の大会から、主催者として、新潟県内のクライミング人口拡大、選手強化の課題も見えてきた、今後、課題解決のため、様々な施策に繋げて行きたいと考える。

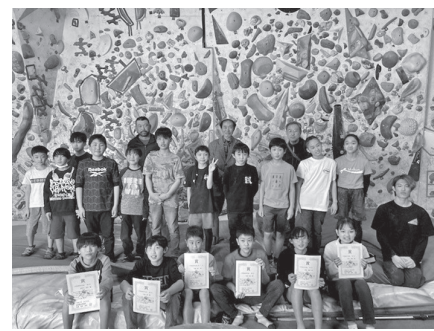
最後に、会場を提供してくれた、CIB OX様と、課題セットと試登で協力してくれた、新潟県代表選手、スタッフの皆様へ感謝申し上げます。

◇参加者 18名(講師含む)
◇研修の概要
8時00分「黄金の里会館」駐車場集合、受付開始。
8時20分 開会式

新潟県山岳協会遭難対策委員長 中村政道氏(新潟稜友会所属)より挨拶。
前日の天気、当日以降の天気予報の変化から山の様子を予測しておく。磁北線を入れた地形図を用意する。(拡大する場合は距離が分かるようにしておく)地形図を正置する(地図の正置は基本)。現在地と向かう方向や登山道、地形を確認する。

8時50分 出発 先頭 中村政道氏 最後尾 鳥伸一氏。
9時00分 尾根線と田村線の分岐 読図 沢や送電線は、鉄塔は目印になる。等高線から勾配を予測する。
9時13分 1合目 等高線から462m地点までの標高差を確認。日頃から自分の登山ペースを把握しておく。(安全な登山計画、登山中の行動予測に役立つ)

令和4年度
安全登山研修会
講習会(第3回残雪期)参加報告
ゆきみ山の会
永澤 智子



◇期日・天候
令和5年3月19日(日)
8時00分～16時00分 晴れ
◇会場
五泉市白山1012m山頂付近 尾根コース往復新潟山のグレイディング「1A」初級者レベル

10時00分 3合目 読

図 白山山頂方向とこれからの登山道を確認する。その他指導 危急時対策でツエルトの代用としてフライシートのポールは設営が簡単で良い。グループでの行動は分かれてはいけない。「先に行つてくれ」はダメ、一人にしない。

10時53分 5合目 途中の積雪がある登山道でキックステップを練習する。

11時05分 標高6200m付

近 尾根の分岐地点で道迷い多発地点。現在地の確認は地形図・GPS・スマホアプリ・高度計など色々なもので行くと、より正確になる。

11時35分 標高800m付

近 道迷い多発地点でピンクテープはあるが、視界が悪いときはコンパスと地図読みが重要になる。

11時55分 標高9500m付

近 昼食休憩。(山頂を目指す方は12時30分までに戻ること)

12時30分 急登及び急なトラバースでロープを使用し安

全に通過する研修。(簡易ハーネス+カラビナ ロープワーク・フリクションヒッチなど)ピッケルを使用した滑落停止姿勢の確認。(ピッケルの位置は肩の位置で構える。出来るだけ早く止める。歩くときは危険を意識し、心の準備をしておく。)

14時00分 下山開始 必ず

下山前に地形図とコンパスで下山方向を確認する。アイゼン歩行の練習。

14時20分 7合目 アイゼン

取り外し。読図 進む方向の確認。

16時00分「黄金の里会館」

駐車場着。

閉会式挨拶 中村氏より。

残雪期の安全登山に今回の研修を役立ててほしい。配布資料は帰宅後の復習に。

◇感想

初級者を対象とした残雪期の安全登山研修会講習会に初めて参加しました。参加者は18名ですが半数近くの方はかなりの技術と経験をお持ちの方でした。

開会の挨拶で遭難対策委員長・講師の中村氏から2月4日の米山で行方不明になった方のお話がありました。その方は2月6日に大平コース登山道からはずれた米山川の沢沿いで遺体として発見され、死因は低体温症だったそうです。

新潟県山岳遭難防止対策協

議会で県警に経緯を聞いたところ詳しい返答は得られなかったようですが、原因は滑落と道迷いが考えられるとのことでした。

2月4日、米山周辺の天気

は晴れ予報だったものの上の方はガスがかかっていたそうで道迷いの可能性が高いとお話でした。

今日も天気は晴れ予報でも、前日に白山周辺は雨が降っていたことから、上の方では新雪が積もっているかもしれないと予測することが大切とお話されていました。

雪のある時の山は、ない時の山よりリスクが高いことを頭に入れ、装備の準備や計画

を立てることが大切なのだと思えて感じました。今シーズンは平野部で大雪になりましたが、山間部では例年より積雪が少ないようです。3合目から部分的に登山道に残雪が出てきますが完全な積雪状態は7合目付近からでした。

積雪があるところでキックス

ステップやアイゼン歩行、9合目付近でピッケルの使い方とロープを利用して通過する研修、所々でコンパスワーク・読図の指導を受け大変勉強になりました。特にピッケルの講習は受けたことがなかったもので、中村氏の滑落停止姿勢は勉強になりました。

また、現在地の把握は難しく、コンパスの使い方と読図は繰り返し練習の必要性を感じています。

今回の講習会は技術習得の良い機会になりましたが、それだけでなく、参加者の方々とお話もでき楽しい1日でした。山頂は眺望が良く、下山の登山道では朝は咲いていな

かったイワカガミ・イワウチワが初々しく春を告げていました。

ご指導頂いた遭難対策委員長・遭難対策委員の講師の方をはじめ、新潟県山岳協会の皆様、安全登山講習会を開催して頂きありがとうございます。有意義な1日になりました。

講習を受けながら楽しく登山できたのは、同行した参加者の皆様のおかげと感謝しております。

WEST
OUTDOOR LIFE STORE

新潟 / 三条 / 長岡 / 上越

令和4年度第3回理事会議事概要

(日時) 令和5年3月18日(土) 9:00~12:00

(場所) 長岡さいわいプラザ305号室

(出席者) 19名

1 会長挨拶(稲田会長)

登山月報にアジア山岳連盟30周年大会が新潟県で開催されるという記事が掲載されたが、新潟県山岳協会へJMSCAから開催依頼は来ていない。

この件については議題の中で詳細な説明がある。

2 議題(議長:稲田会長)

(1) 加盟団体入退会の承認(今井理事長)

令和4年度に6団体が退会(小千谷ハイキングクラブ、和島マウンテンクラブ、見附山岳会、新潟クライマーズソサエティ、越後ハイキングクラブ、越後吉田山岳会)

(2) 規約の改正について(今井理事長)

第八章(専門委員会)第32条に会報編集委員会を追加

(3) 令和5年度役員について(今井理事長)

(4) 令和4年度各専門委員会事業報告及び決算報告

「指導技術委員会」(堀口委員長)

- ・岩登講習・研修会を、6月19日に新発田市杉滝岩で実施。
- ・冬山講習会は、コロナを考慮し中止。

「遭難対策委員会」(中村委員長)

3月19日に残雪期第3回安全登山講習会を予定。

「自然保護委員会」(伊藤委員長)

トレラン大会が、栗ヶ岳、守門岳、浅草岳で開催。山岳会の協力を得て監視を実施。今後も、引き続き監視活動を続けて行く。

「登山普及委員会」(渡辺委員長)

4月21日「日向倉山」参加者21名、6月19日「平標山」参加者24名、10月1日~2日「平ヶ岳」参加者26名、2月11日 登山普及情報交流会

「競技委員会」(田中委員長)

12月10日~11日 北信越強化練習会 (会場)新潟市CAMP4

3月11日 理事長・GM会議 (会場)新潟市

3月19日 小中学生クライミング大会(ボルダリング) (会場)長岡C-BOX

- ・今年度はコロナが治まったため、例年通りの全ての行事が実施出来た。

「弥彦山たいまつ登山祭委員会」(楡井委員長)

- ・150名が山頂に集まり、稲田会長より講演して頂いた。山頂行事のみが県山協の行事であるという認識で良い。

「会報編集」(遠藤 俊一)

- ・今年度は6回発行。

(5) 令和5年度各専門委員会の事業計画と予算案

「指導技術委員会」(堀口委員長)

- ・昨年度と変わりなし。

「遭難対策委員会」(中村委員長)

- ・例年通り3回の安全登山講習会を企画。
- ・6月に全国遭難対策協議会が予定されている。

「自然保護委員会」(伊藤委員長)

- ・ウイルス感染の状況を考慮しつつJMSCA自然保護委員会出前講座による自然保護研修を予定。
- ・6月23日～25日 新潟トレイルランナーズ大会立会い

「登山普及委員会」(渡辺委員長)

(令和5年度事業計画(案))

- 5月21日(日) 飯豊連峰 大境山 1,102m(山形県小国町)
- 9月2日(土)～3日(日) 海谷山塊 駒ヶ岳 1,487m(糸魚川市)
- 11月3日(金) 六日町 金城山 1,369m(南魚沼市)

「競技委員会」(田中委員長)

- 4月1日(土) ビレー講習会(北信越国体のビレーヤー6名)
- 4月23日(日) 新潟カップ(県予選会)
- 5月20日(土) 北信越5県代表者会議
- 7月29日(土)～30日(日) 北信越国体
- 10月8日(日)～10日(火) 鹿児島国体
- ・その他は昨年と同様だが、新たに「ボルダリング体験会」を3ヶ月に1回程度設定。(競技者の底辺拡大が目的)

「弥彦山たいまつ登山祭委員会」(楡井委員長)

- ・5月中旬にたいまつ登山実施の可否を決め、それを受けて第1回委員会を開催する。
- また、10月にゴミ拾い等のボランティア登山を予定している。

「会報編集委員会」(大場委員長)

- ・5月から隔月で年6回、新山協ニュースの発行を予定している。

(その他)

- ・登山普及委員会ではこれまで参加費を徴収していなかったが、経費がかかっているため今後は参加費を徴収する。

(6) 一般会計決算報告及び予算案(事務局)

- ・4月1日の競技委員会行事、ビレー講習会受講料、旅費は北信越国体に係るものなので県山協が負担する。

(7) その他(今井理事長)

- ・JMSCA登山月報No.647に、理事会議事録として、「UAAA(アジア山岳連盟)創立30周年記念大会を新潟県山岳協会がやりたいと希望している」と掲載された。その様な事実は無いため、JMSCAに事実確認したところ以下の回答があった。

(JMSCAの回答)

- ・各県に誤記の旨メールする。
- ・登山月報に訂正文を掲載する。

(8) 各専門委員会監査(各委員長、監事)

登山・ハイキング・クライミング
テレマーク&山スキー



パーマーク

長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200-FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30～PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>



食に寄り添い、心を通わす。
Alongside your cuisine and your life.

HAKKAISAN

www.hakkaisan.co.jp